

UIA2011東京大会 併催イベント

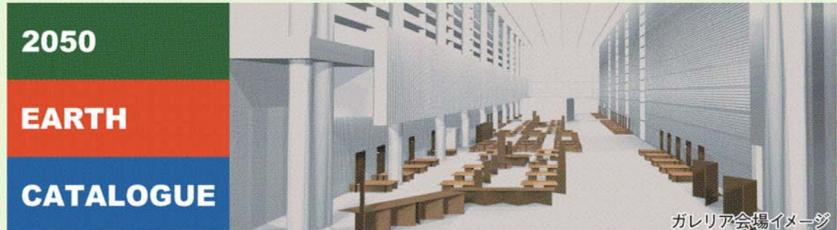
入場無料

UIA 2011 TOKYO
2050 EARTH CATALOGUE

2050年社会の英知とヒント、思想を3つのテーマ「Environment/環境」「Culture/文化」「Life/生命」で展示します。訪問者は自ら考え、それぞれの「2050年の社会」を世界に発信します。世界が1つになり、災害を乗り越え、持続可能な社会に近づく展示です。

■日程：パート1展 9月26日(月)～9月28日(水) (東京国際フォーラム ホールA・ロビー)
パート2展 9月23日(祝金)～10月2日(日) (東京ビル TOKIA 1階ガレリア)

■主催：2050 EARTH CATALOGUE展実行委員会



ガレリア会場イメージ

東京を創る

Realizing Tokyo after 3.11

東京建築士会のメンバーが様々な職域で東京を創ることに貢献しながら、after 3.11にいかに向き合うかをテーマにおいた模型・パネルで構成する展示会に、住宅を中心に震災をテーマにしたミニシンポジウムも連日開催します。

■日程：9月26日(月)～28日(水) 9:00～17:00
(28日は14:00まで) 入場無料

■会場：東京国際フォーラム ガラス棟7階 ラウンジ・701会議室

■主催：東京建築士会

10,000 WORLD ARCHITECTS EXHIBITION

10,000人の世界建築家展

世界中の建築家のメッセージと作品を東京国際フォーラムの様々な場所でポスター展示します。

■日程：9月26日(月)～28日(水) 入場無料

■会場：東京国際フォーラム ガラス棟スロープ

日本の建築

BCS建築セミナー「日本の建築」

日本には古くから高度な建築技術を活かした建築創造システムがあり、時代ごとに質の高い建築を生み続けてきました。これらを過去、現在・未来の二部構成により概観します。

第1部 過去から現在へ…共生の心と匠の技術
第2部 現在から未来へ…2011年、サステナブル建築を考える

■日程：9月26日(月)15:00～19:00 入場無料
(定員720名、申込受付順)

■会場：東京国際フォーラム ホールC

■主催：日本建設業連合会

(問合せ・申込先：建築セミナー係 ☎03-3553-4095)

UIA2011東京大会 一般公開プログラム

参加無料

会場：東京国際フォーラム ホールA 定員：5,000名 ※UIA公式HPより要事前登録

東日本大震災をふまえ、サブテーマの「環境」「文化」「生命」などの観点からテーマ別に開催し、一般市民も含めて広く参加募集します。

26日(月) 19:00～21:00

「若者に語る/建築とは何か」
スピーカー：建築家 安藤忠雄氏

27日(火) 9:00～11:00

「これからの環境建築を考える」
コーディネーター：首都大学東京 教授 小泉 雅生氏
パネリスト：ハーバード大学 環境工学科 教授 トーマス・レヒナー氏(ドイツ)
環境建築家 マドゥラ・プレマティリケ氏(スリランカ)
環境デザイナー マトス・サンタムリス氏(ギリシャ)

UIAゴールドメダル受賞者であり、文化勲章受賞者でもある建築家安藤忠雄氏による公開講演会。阪神淡路大震災、東日本大震災を経験した今、住宅から公共建築まで幅広く国際的に活躍する安藤氏より、建築とは何か、建築家として何を考えるべきかをお話いただきます。

異なる気候・風土を背景とした、様々な視点・分野からの環境配慮の取り組みを通じ、これからの建築の可能性を考えます。

27日(火) 11:30～13:30

「自然と共存する技術とは何か」
コーディネーター：東京大学生産技術研究所 講師 太田 浩史氏
パネリスト：ニューヨーク近代美術館 パオラ・アントネリ氏(イタリア) 建築家 伊東 豊雄氏

27日(火) 15:00～17:00

「ネットワーク時代の建築家像と建築家の職能」
コーディネーター：神戸大学 准教授 櫻橋 修氏
パネリスト：建築家 ジェフリー・イナバ氏(米国)
ドコモモ会長 アナトステス氏(ポルトガル)
建築家 フランシス・ケレ氏(ブルキナファソ)
㈱高橋工業 代表取締役 高橋 和志氏

東日本大震災は、私たちが頼ってきた技術そのものへの信頼をもゆるがしています。我々はどうに今後の技術を考え、都市化する社会を築いていくべきか、関連する多分野の視点を通して議論します。

IT技術の進歩と急速なネットワーク化に伴い、建築家が社会に対して果たしてきた役割にも大きな変化が訪れています。21世紀の建築家が社会に果たすべき役割について議論します。

UIA2011東京大会 開催概要

- 名 称：UIA2011 東京大会 (第24回世界建築会議)
- メインテーマ：「DESIGN 2050」災害を克服し、一丸となって、新しい未来へ！
Beyond Disasters, through Solidarity, towards Sustainability
- サブテーマ：「環境」「文化」「生命」
- 主催：国際建築家連合(UIA)/UIA2011 東京大会 日本組織委員会(JOB)
- 会 期：2011年9月25日(日)～10月1日(日)
※9月29日(木)～10月1日(日)はUIA総会期間
- 会 場：メイン会場 東京国際フォーラム、丸の内地区、日本橋地区ほか

UIA大会とは？

UIA大会(世界建築会議)は、約130の世界の国・地域から約1万人の建築関係者が集う国際的なイベントです。1948年のローザンヌ大会(スイス)以来、ほぼ3年毎に世界の各都市で開催されてきたUIA大会が、日本で初めて開催されます。

第24回世界建築会議(UIA2011東京大会)のメインテーマは「DESIGN2050」。

建築家をはじめ、世界の各分野の専門家が知恵と技術を結集して近未来のビジョンを描き出し、その成果を「東京宣言」として世界に発信します。

DESIGN 2050



前回トリノ大会(2008)オープニング風景

ecobuild 出展者によるセミナー/ワークショップ

会場入口 A会場 定員：120名

※受講ご希望者は、ecobuild公式HPより申込書をダウンロードの上、FAXまたはe-mailにて参加登録をお願いいたします。

26日(月) 13:00～15:00 「免震構造の概況とその効果」

現在の日本の免震構造と免震装置の現況及びここ20年間の大きな地震での免震効果をわかりやすく説明し、今後の地震に備えます。 ㈱日本免震構造協会

15:30～17:30 「先進技術によるサステナブルデザイン

～BIMでより良い設計プロセスと環境配慮を可能にする方法～
BIMの手法で、どのようにサステナブルデザインを実現するのかを事例、デモを交えて紹介します。

27日(火) 10:00～17:30 「日本の構造技術と構造デザイン」

※JSCAにて事前登録を行った会員以外は、当日会場受付となります。
第1部 日本における地震との闘い
第2部 近年の日本の構造デザイン
第3部 日本建築における構造の真実性と欺瞞性について ㈱日本建築構造技術者協会(JSCA)

28日(水) 13:00～17:00 「建築設備 最新のサステナブル技術と大震災への取り組み」

第1部 我が国の最新のサステナブル建築設備技術
第2部 東日本大震災への建築設備技術者の取り組み ㈱建築設備技術者協会

※発表の内容は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。最新情報はecobuild公式HPよりご覧ください。

第10回 すまい・建築・都市の環境展

エコビルド ecobuild 2011

For Realizing the Sustainable Building & Environment

日本初開催！！
世界の建築家が集う国際会議

UIA
2011
TOKYO
併催イベント



いよいよ開催！ すまいやオフィスの環境展示会！

節電一色で過ぎようとしている今年の夏。電力供給などエネルギー問題は日本国民みんなの関心事として注目が高まりました。こまめに電気を消したり、省エネ型の電化製品に買い替えたりと、それぞれのやり方で節電にチャレンジされたことでしょうか。

やビルなどの建築物の環境対策のための展示会「エコビルド2011」が、9月26日から28日までの3日間、有楽町にある東京国際フォーラムで開催されます。省エネ・省電型、そして環境に配慮した建築・建設材料、太陽光発電システム、LED照明関連、緑化技術、日本の優れた木材利用の紹介、光触媒など各種製品からの展示などを行います。

入場無料

日時 2011年
9月26日～28日
10:00～18:00
(最終日は～17:00)

会場 東京国際フォーラム

主催 エコビルド実行委員会
財団法人建築環境・省エネルギー機構
日刊工業新聞社

共催 UIA2011 東京大会 日本組織委員会

URL : <http://www.nikkan.co.jp/eve/ecobuild>

ecobuild 出展者一覧

㈱アーク情報システム/旭ビルホール(株)/池上産業(株)/㈱コトブキ/タミヤ(株)/名成電機(株)/EIFS JAPAN(株)/㈱インテリアシニダ/エーアンドエー(株)/㈱エクシズ/ecobuild america/ecobuild asia /SUS(株)/オーストリア大使館 商務部/オートデスク(株)/㈱カネソウ(株)/㈱環境新聞社/元日マテール(株)/経済産業省 資源エネルギー庁/助産環境・省エネルギー機構/㈱国際環境デザイン協会/コンドール(株)/The Architectural Review/㈱シェルター/㈱ジャパン緑化/新日鉄エンジニアリング(株)/㈱森林総合研究所/㈱創造再生研究所/TREE X ARTプロジェクト/㈱ソディックLED/㈱損害保険ジャパン/THK(株)/㈱トーケン/東鉄工業(株)/TOTO(株)/ハイドロテクト/日印国際産業振興協会/㈱日刊建設通信新聞社/日本ナチュロック(株)/㈱日本ビジネス出版/日本メックス(株)/㈱日本免震構造協会/橋本総業(株)/ビーエス(株)/㈱ヒガノ/光触媒工業会/㈱ビスダックジャパン/㈱プリチストン/三菱地所(株)/三菱地所レジデンス(株)/三菱地所ホーム(株)/㈱ユニオン/リョービ(株)/林野庁/NPO 活木活木森ネットワーク/(株)工務店サポートセンター/越井木材工業(株)/NPO シックハウスを考える会/㈱全国木材組合連合会/日本合板工業組合連合会/日本集成材工業協同組合/(株)日本ログハウス協会/㈱ロブテック スファニングシステム/和のリフォーム 駱駝

ecobuild 特別展示 (地上広場)

参加無料

【免震体験コーナー】大地震の揺れを再現しつつ、「免震」と「非免震」の違いを体験

「免震体験車」の起震装置は、過去80年間に起きた大地震の揺れや、震度5～7といった震度毎の揺れを再現します。「地震体験室」には、1回あたり4名までの搭乗を想定した椅子とテーブル、震度表示器、その他、液晶テレビやAV機器などを設置。地震発生時の室内の状況をリアルに再現できますので、免震システムの作動の有無による地震の揺れを比較体験していただけます。(特別協力:THK(株))

日時：9月26日(月)～28日(水) 10:00～18:00
場所：東京国際フォーラム 地上広場Aコーナー (東京駅側)



会場入口 B会場 定員：120名 ※当日、会場で受け付けます

26日(月) 13:00～13:30 「アルミを進化させる“ecoms”のビジョン」

[ecology & economy modular system]としてecomsがうまれて10年。進化するアルミ建築をさまざまな切り口で紹介。 SUS(株)

14:00～14:30 「腐食と変形に強い“新しい木材「アコヤ」の魅力」

腐食、変形、害虫被害への高い耐久性能を持つだけでなく、人や環境にも優しいアセチル化木材「アコヤ」の可能性について紹介します。 池上産業(株)

15:00～16:00 「森林と木と建築のアライアンス/国際森林年にあたって

～木材の有効利用・無人駅のアートベンチ設置報告・木のトレサビリティの重要性～
日本産木材の建築物への有効利用と森林の多面的機能を見直すとともに、木のトレサビリティ・マネージメントの実例を紹介します。 ㈱創造再生研究所

27日(火) 14:00～17:00 「グリーン・デザイン：オーストリアにみる建築と建材のエネルギー効率」

<建材>シュベヒテンハウザー社、KLH社、トーマ社、ホルツクラスター・シュタイヤマルク社、ヒューマンリサーチ社、インセル社、エターニット社
<建築技術>ルーカスラングビルディングテクノロジ社、ドーカ社、ラミーシステム社
<照明>ツムトール社、HEIソーラーライト社
<ベレットストップ>アウストロフラム社オーストリア大使館 商務部

28日(水) 10:00～12:00 「『誰が景観を創るのか?』 筋書きのない物語」

第1部 基調講演 早稲田大学文学部教授 堀江 敏幸氏 ほか
第2部 パネルディスカッション ㈱建設コンサルタンツ協会

13:30～14:30 「加速するBIM活用 第3章 ～誤解されるBIM～」

なぜBIMが必要なのか? メリットは何なのか? 目指すものは? 成功させるためには? など皆様が持たれている疑問・課題についてお話しします。 オートデスク(株)